

2023年度 「地域課題解決につなげる」脱炭素セミナー

檜山地域における ゼロカーボンの取組について



ZERO CARBON
HOKKAIDO
HIYAMA
Subprefecture

北海道檜山振興局
保健環境部環境生活課

1. 伴走支援（対象：自治体、事業者）

- ▶ ひやまゼロカーボンネットワーク等の活用

2. 普及啓発（対象：地域住民）

- ▶ SNS等の活用（2050年現役世代がメインターゲット）

3. 率先行動（対象：道職員、地域住民）

- ▶ EV（公用車）×再エネの運用等

ひやまゼロカーボン ネットワークとは？



◆ 目的

- ▶ 官民が連携し、檜山地域が一丸となってゼロカーボンに取り組むための体制を整備

◆ 構成機関

- ▶ 全**36**団体（民間28、町7、振興局1） ※随時募集中！

◆ 機能

① 情報共有・気運醸成

脱炭素化に資する諸制度や、国・道・地域の動向などの把握・共有、地域の脱炭素化に向けた気運醸成
⇒ ネットワーク事務局（当課）が**HUB**の役割を果たすことで、情報共有・折衝を**省力化**

② 地域の先導事例の創出 → 横展開

先導的な取組を包括的にサポート
⇒ 主に対面により支援することで、「**顔の見える振興局**」へ



POINT TO POINT



HUB & SPOKE

脱炭素ポータルサイト



[https://ondankataisaku.
env.go.jp/carbon_neutral/](https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/)

(有) 浅田産業HP



<https://ezomaitake.com/>

1. 伴走支援（対象：自治体、事業者）

- ▶ ひやまゼロカーボンネットワーク等の活用

2. 普及啓発（対象：地域住民）

- ▶ **SNS**等の活用

3. 率先行動（対象：道職員、地域住民）

- ▶ EV（公用車）×再エネの運用等

普及啓発 (SNS)

◆メインターゲット

2050年現役世代

管内イベント情報
など

瞬発力・拡散力



【Twitter (現 : X)】

テーマを掘り下げ
るコラムなど

情報量



【NOTE】



◆メインターゲット

ファミリー層

CHECK!

- ★当局若手有志チームによる自主制作
- ★素材には道産木材を使用
- ★無料貸し出し実施中
- ★道内各種イベントへの出展

脱炭素系ボードゲーム「ゼロボン」



イベント出展の様子



1. 伴走支援（対象：自治体、事業者）

- ▶ ひやまゼロカーボンネットワーク等の活用

2. 普及啓発（対象：地域住民）

- ▶ SNS等の活用

3. 率先行動（対象：道職員、地域住民）

- ▶ **EV**（公用車）×**再エネ**の運用等

ゼロカーボンEV公用車シェアリング事業

○ 再エネ×EVでゼロカーボンドライブ×レジリエンス向上へ

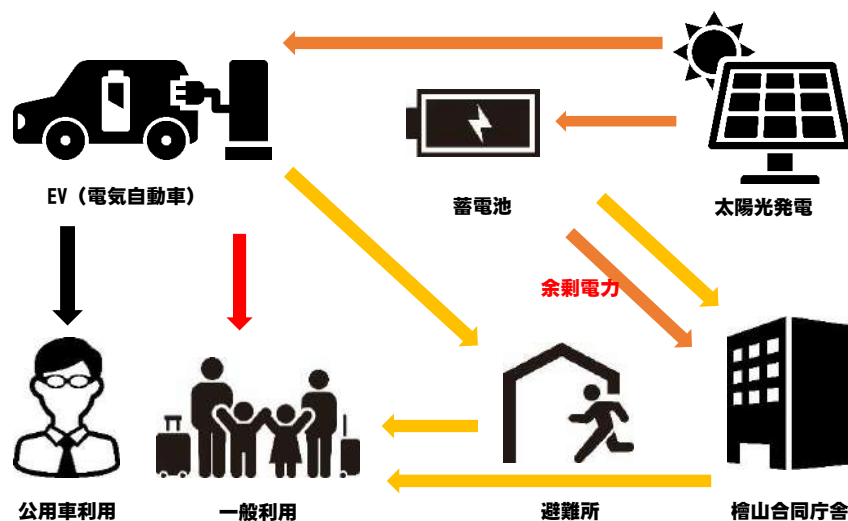
1 事業概要及び目的

- ◆ 太陽光設備と公用車のEV（電気自動車）導入によるゼロカーボンドライブ※1の実現
- ◆ 公用車+休日一般解放※2により道資産の遊休率低減と道民へのEVに対する普及促進
- ◆ 蓄電池から庁舎へ、EVから外部へ電力供給を可能とし、災害時含む利用環境のレジリエンス向上

2 設備等内容

実施場所	北海道檜山振興局 (北海道檜山郡江差町字陣屋町336-3)
車種/台数	日産・リーフ/2台
発電等設備	ソーラーカーポート、蓄電池、充放電機器、外部給電器
カーシェア事業者	「EV公用車カーシェアリングモデル事業」受注コンソーシアム（代表：日産自動車(株)） ※利用料金は200円/15分から
再エネ発電設備容量	10.25kW
想定年間発電量	11,788kW/年
CO ₂ 削減効果	7.23t-CO ₂ /年

3 事業イメージ



※1：CO₂を排出しない運用の仕組み

※2：予約システムはNISSAN e-シェアモビを使用

● 車利用（平日）

● 電力供給（通常時）

● 車利用（休日）

● 電力供給（災害時）



率先行動 (EV×再エネ)

◆ 取組その①

◇ 庁内ネットワークの活用

- ・ 車両共有 (庁内のどの課でも使用可)
- ・ 発電量などの実績共有 (掲示板周知)

期待される効果

★ 道資産の遊休率低減

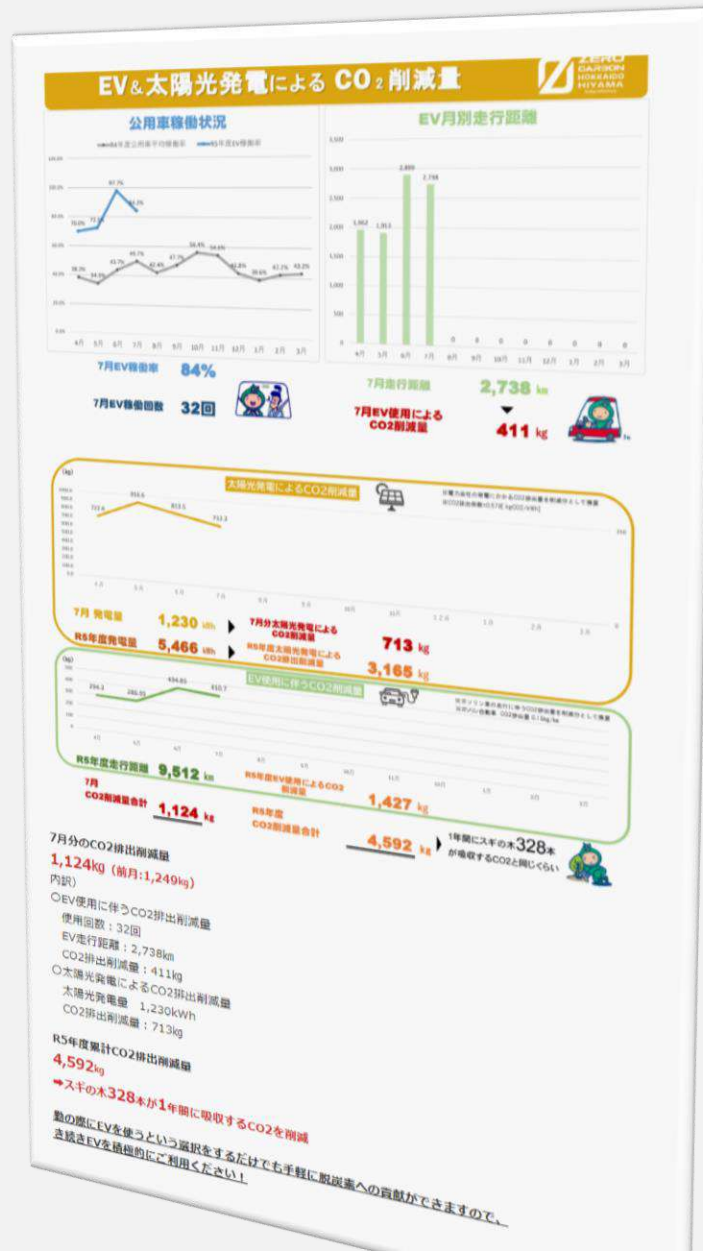
★ 道職員の意識醸成

49.7%
(R4公用車稼働率)



84.2%
(共用化EV稼働率)

※ 7月の稼働率比較



率先行動 (EV×再エネ)

◆取組その②

◇カーシェア利用拡大に向けた広報

・広報データの作成

⇒近隣商業施設等への配架、
町広報誌への折り込み等

・管内イベントへのEV出展

⇒チラシ配布＋給電デモ等の
実施



ゼロカーボンドライブを体験してみませんか?
(ゼロカーボンEV公用車シェアリング事業)

脱炭素を身近に。
北海道稚内市では、走行時にCO2を排出しない「ゼロカーボンドライブ」を目指して、太陽光発電設備付きのカーポートと電気自動車（EV）を公用車として導入しました。導入車両は、公用車として利用されない平日や祝日に、専用の予約システム（NISSAN eシェアモビ）を通して、地域や旅行者の皆さまへ有料で開放します。観光や遠出の際の移動手段、または電気自動車の体験の機会としてご利用ください。

シェアリング（林田利用）
開行日（平日） 開行日（土日・祝日）

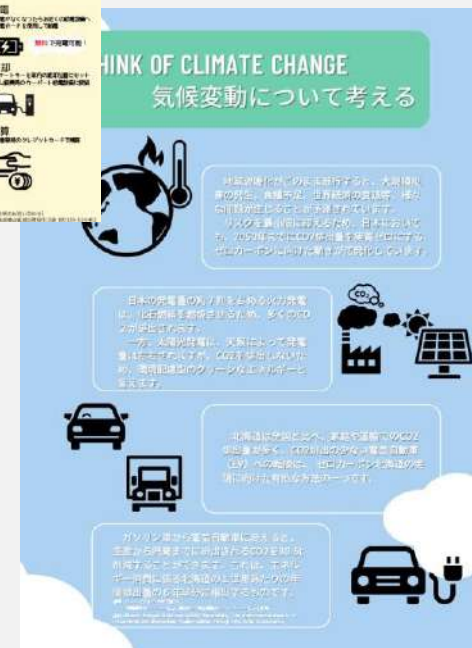
◆利用可能日
(請求)
土曜日・日曜日・祝日
※休日の場合、お申し込みは前日18時までにしてください。
※お申し込みは、お申し込みフォームから、お申し込みください。
※お申し込みは、お申し込みフォームから、お申し込みください。

◆貸出場所
北海道稚内市振興局 駐車場
(江差町字南原町330-3)

◆利用料金
①会員登録 ②年費予約 ③返車 ④充電
⑤返金 ⑥保険

利用拡大 +

汎用性等、
EVの魅力
の普及啓発



THINK OF CLIMATE CHANGE
気候変動について考える

気候変動は、地球温暖化による、大気中の温室効果ガスが増加し、地球の気温が上昇し、海面上昇や異常気象の増加など、様々な影響をもたらしています。気候変動は、私たちの生活に大きな影響を与えています。気候変動を抑制するためには、温室効果ガスの削減が不可欠です。日本は、2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする目標を掲げています。

日本の発電量の約7割を石油や石炭などの化石燃料から生成しています。化石燃料は燃焼するとCO2を排出し、多くのCO2が排出されています。一方、太陽光発電は、気候変動による発電量は増加しています。CO2を削減するために、再生可能エネルギーの導入が不可欠です。再生可能エネルギーは、気候変動のリスクを軽減するための重要な手段です。

北海道は、気候変動への対策として、再生可能エネルギーの導入を推進しています。再生可能エネルギーは、CO2の排出を削減し、気候変動のリスクを軽減するための重要な手段です。再生可能エネルギーの導入を推進するために、再生可能エネルギーの普及を促進する必要があります。

ガソリン車から電気自動車に乗り換えることで、温室効果ガスの排出量を削減することができます。再生可能エネルギーから発電された電気を使用することで、CO2の排出量をさらに削減することができます。再生可能エネルギーから発電された電気を使用することで、CO2の排出量を削減することができます。





電気自動車
Q&A

電気自動車とは？
電気自動車は、エンジンや変速機を必要とせず、電力で走る自動車です。環境に優しく、運転が楽で、メンテナンスが簡単です。

充電方法
家庭用コンセント、専用充電機、公共充電ステーションで充電できます。

走行距離
一度の充電で約200kmから400km程度走行可能です。

価格
一般的なガソリン車と同等の価格帯です。

補助金
国や自治体から補助金が支給されます。

電気自動車
Q&A

電気自動車とは？
電気自動車は、エンジンや変速機を必要とせず、電力で走る自動車です。環境に優しく、運転が楽で、メンテナンスが簡単です。

充電方法
家庭用コンセント、専用充電機、公共充電ステーションで充電できます。

走行距離
一度の充電で約200kmから400km程度走行可能です。

価格
一般的なガソリン車と同等の価格帯です。

補助金
国や自治体から補助金が支給されます。

国館300
わ 69-11

**ボードゲーム・EV等の
活用のご相談は
お気軽に振興局まで！！**

◇連絡先

T E L

★ 0 1 3 9 – 5 2 – 6 4 9 2

E – M A I L

★ zc.hiyama@pref.Hokkaido.lg.jp

担当

支援相談等：山澤、坂口

S N S , E V 等：山澤、田中

FIN.

Thank you for your attention!